

茨城県史研究収録内容のご紹介

(完売分を除きます。)

品名	単価(円)	送料(円)	収録内容
茨城県史研究85号	300	210	水戸光圀と新井白石／江戸時代中期の村方騒動／常陸国古代戸籍考(下)／『常陸国風土記』に於ける壬生部とその豪族／多賀郡日高村の全村教育／茨城孤児院と矢口伊右衛門／県史関係文献目録(24)
茨城県史研究84号	800	210	常陸国古代戸籍考(上)／吉田用水通船計画／古河歴史博物館と鷹見泉石／近世銭貨の生産・流通について一考察／茨城県における前期古墳の基礎的研究／茨城県広畑貝塚出土の縄文時代晩期の土器(二)
茨城県史研究83号	600	210	土浦藩における徒罪の実施状況について／幕末期井伊政権による水戸風聞探索／野口雨情研究／水戸衛戍地(歩兵営・工兵営)変遷の概要／大窪詩仏について／『茨城県立歴史館史料叢書1・2内閣文庫蔵茨城県史料上・下』について／県史関係文献目録(23)
茨城県史研究82号	800	210	茨城県広畑貝塚出土の縄文時代晩期の土器／馬具の集成をおえて／史跡と文学碑／幕末水戸藩についての雑感／下館藩領村における尊徳仕法／大正期茨城における地域の教育課題
茨城県史研究81号	800	210	猿島門徒と妙安寺／常陸の国衙文書をめぐって／天保期の旗本領／茨城県における学童集団疎開概要の一端／茨城県下における淀橋区学童集団疎開の展開／県史関係文献目録(22)
茨城県史研究80号	800	210	昭和四年の関東筋川々普請助役をめぐって／ひたちなか市における土器出現期の一様相／『源威集』を読む／鹿島大祇宜家文書の発見によせて／常総地方の近代短歌人達／大久保真菅の史料収集
茨城県史研究79号	800	210	茨城県史刊行記念式によせて／茨城県史編さん事業の意義／鬼怒・小貝川中流域における低地遺跡の基礎的研究／事実と真実／御用留に見る水戸藩大山守・山横目の御用／茨城県における戦前の障害児教育／県史関係文献目録(21)
茨城県史研究78号	800	210	鹿島港建設事始め／古鬼怒湾「製塩遺跡」を中心とした安行式集団の動態／佐竹北義斯に関する一考察／大正デモクラシーの申し／吉田活堂の学問形成／血盟団と五・一五事件の思想史／『茨城県史年表』の刊行によせて
茨城県史研究77号	800	210	古鬼怒湾奥部における海進・海退一貝塚の貝類相から見た海岸線の変化／常陸国信太荘の知行構造／近世後期常総地域の鮮魚輸送をめぐる諸問題／戊辰戦争期の常総地域／小西四郎先生の思い出／書評『茨城県史料＝中世編Ⅵ』／書評『茨城県史料＝近世政治編Ⅲ』／県史関係文献目録(20)
茨城県史研究76号	800	210	「香島に向ふ陸の駅道」について／土浦土屋藩主歴代と江戸幕府奏者番／天保期の古河藩領構造／水戸藩の天保検地絵図について／常陸山と「相撲道」／未知との遭遇／県史編さん日誌(75)
茨城県史研究75号	800	210	水戸浪士の西上と上州／茨城県域における須恵器窯跡出土資料について／『勘仲記』に見える鹿島神宮神主の補任記事について／戦後における社会科教育／書評『茨城県史料＝考古資料編奈良・平安時代』／県史関係文献目録(19)／県史編さん日誌(74)
茨城県史研究74号	800	210	鎌倉期常陸国奥七郡をめぐる婚姻関係成立の意義／松波勘十郎搜索(26)／ある古河藩士の幕末・明治／大正・昭和戦前期における茨城県銀行の不動産担保貸付金／気概の学／県史編さん日誌(73)
茨城県史研究73号	800	210	茨城における「最古の土器の決定法」研究の正道／松波勘十郎搜索(25)／満蒙開拓青少年義勇軍の創設／土井利勝の出自に関する三通の書状／書評『茨城県史料＝中世編Ⅴ』／書評『茨城県史料＝近代政治社会編Ⅴ』／県史関係文献目録(18)／県史編さん日誌(72)
茨城県史研究72号	800	180	常陸国の木簡から／東国の古代集落／衣袖常陸・古代「水」文化考／幸若舞曲「信太」と常陸国／六地藏寺本「神皇正統記」の発見に寄せて／占領軍の本県進駐時の諸問題と文献紹介／県史編さん日誌(71)
茨城県史研究71号	800	210	常陸国富有人注文の基礎的考察／中世関東における水運システム解明のための一試論／松波勘十郎搜索(24)／維新时期下館藩政の一齣／「桜田門外ノ変」執筆余話／地方史編纂におけるパーソナルコンピューターの利用／書評『茨城県史料＝近世社会経済編Ⅳ』／書評『茨城県史料＝幕末編Ⅲ』／県史関係文献目録(17)／県史編さん日誌(70)
茨城県史研究70号	700	180	聖護院道興筆天神名号と史的背景／松波勘十郎搜索(23)／牛久助郷一揆の記録をめぐって／学校要覧「茨城県医学校」／前田夏蔭と水戸藩／新刊紹介『茨城県史料＝中世編Ⅳ』／『茨城県史料＝戦後改革編』を読んで／県史編さん日誌(69)
茨城県史研究69号	700	180	川口緑野著『台湾鄭氏紀事』刊行始末／松波勘十郎搜索(22)／千雷翁購米関係史料／斉昭継嗣問題と大久保今助／鹿島砂丘地の改良／書評『茨城県史料＝近世政治編Ⅱ』／県史関係文献目録(16)／県史編さん日誌(68)
茨城県史研究68号	700	210	明治初年の「尊攘派」について／近代における大山沼の渡船場／松波勘十郎搜索(21)／古河公方期における贈答に関する一試論／インディアスへのまなざし／書評『茨城県史料＝考古資料編弥生時代』／県史編さん日誌(67)
茨城県史研究67号	700	210	常陸大山の親鸞と真宗門徒／幕末・維新时期における水戸藩の動向一慶応期の政治過程を中心に／義経余情(2)－義経伝説と『大日本史』／一橋徳川家史料「小谷沼開発関係史料」紹介(5)／松波勘十郎搜索(20)／書評『茨城県史料＝近世社会経済編Ⅳ』／書評『茨城県史料＝近代産業編Ⅳ』／県史関係文献目録(15)／県史編さん日誌(66)
茨城県史研究66号	700	210	水戸藩輸送機構における小堀御穀宿／茨城県における農本主義諸潮流についての覚書／義経余情(1)－伝説の地を追う／再び『大日本史』の続編計画をめぐって／一橋徳川家史料「小谷沼開発関係史料」紹介(4)／松波勘十郎搜索(19)／書評『茨城県史料＝中世編Ⅲ』／県史関係文献目録(14)／県史編さん日誌(65)

品名	単価(円)	送料(円)	収録内容
茨城県史研究65号	1,000	210	県史編さん25年を経て／県史編さん25年にあたって／中世史部会の思い出／県史回想／県史編さん25年にあたって／修史随想／近代政治社会編零話／史料調査の思い出と今後／県史編さん25年／県史編さん25年の歩み／茨城県史25年に寄せて／茨城県史編さん25周年によせて／静岡県史編さんの現状と課題／北海道における三つの修史事業／「根無し草」「果て」意識の戯文／全国都道府県史刊行状況一覧／「茨城県史研究」総目次(第1号～第64号)／県史編さん日誌(抄録)／県史編さん日誌(64)
茨城県史研究64号	600	180	アメリカに渡った常北町・清音寺の仏像と山門(下)／新設若森県の支配について／備前堀と利根川東遷／激動期を教育界に生きて／狐塚古墳出土の短甲／松波勘十郎捜索(18)／県史編さん日誌(63)
茨城県史研究63号	600	180	アメリカに渡った常北町・清音寺の仏像と山門(上)／旗本相給村落における村運営／一橋徳川家史料「小谷沼開発関係史料」紹介(3)／捕鯨船でもらった洋酒／書評『茨城県史料＝近世思想編大日本史編纂記録』／書評『茨城県史料＝幕末編Ⅱ』／県史関係文献目録(13)／県史編さん日誌(62)
茨城県史研究61号	600	180	常陸中世武士団の在り地盤／一橋徳川家史料「小谷沼開発関係史料」紹介(2)／松波勘十郎捜索(16)／茨城の酒／書評『茨城県史料＝近世社会経済編Ⅲ』／書評『茨城県史料＝現代統計編』／県史関係文献目録(12)／県史編さん日誌(60)
茨城県史研究60号	600	180	一橋家史料と歴史館／一橋徳川家史料「小谷沼開発関係史料」紹介(1)／二つの国家倫理学／徳川光圀と『高麗史』／松波勘十郎捜索(15)／寶月圭吾先生の思い出／寶月圭吾先生を憶う／常総地方の怪雨について／県史編さん日誌(59)
茨城県史研究59号	600	210	戦国時代の横曾根報恩寺と證了／松波勘十郎捜索(14)／諏訪遺跡出土土器群の再検討／ナポレオン三世皇后のユージュニーと徳川昭武の交流／小瀬農学校の思い出／県史関係文献目録(11)／県史編さん日誌(58)
茨城県史研究58号	600	180	大正期茨城地域社会論序章／松波勘十郎捜索(13)／鎌倉後期南北朝期における横曾根門徒の動向／水戸の石州流茶道／県史に残る大発見－茨城のギフチョウ物語－／近世後期、北総の飢餓と物価／県史編さん日誌(57)
茨城県史研究56号	700	210	松波勘十郎捜索(11)／近世計画村落の空間構成について－古村改造の事例－／関東における地主制展開の構造／野口雨情の社会主義風な初期詩片をめぐって／節と夜雨と女性と／徳川昭武の北海道日誌／県史編さん日誌(55)
茨城県史研究55号	700	210	松波勘十郎捜索(10)／徳川昭武の京都時代／『大日本史』の続編計画をめぐって／中世文献調査報告(5)／常陸国鹿島郡衙推定地(神野向遺跡)の調査／『茨城県史＝通史編』の編集にあたって(1)／県史関係文献目録(9)／県史編さん日誌(54)
茨城県史研究54号	600	180	享保期新田検地にみえる年貢増徴策と地主制／『安得虎子』についての一考察／「絶対主義化」論について／近世後期常陸国実穀村における家族構成について／茨城県南部・西部の中世金石文資料／中世文献調査報告(四)／県史編さん日誌(53)